

令和元年度 事業報告

全国鐵構工業協会青年部 中部ブロック

通常総会の開催

- ・ 令和元年 7月13日（土） 15：00～15：30
- ・ 愛知県鉄構工業協同組合会議室 18名（+4名）
- ・ 議案

平成30年度事業報告・収支決算報告承認の件

役員改正（案）承認の件

令和元年度事業計画（案）・事業予算（案）承認の件

令和元年度会費承認の件

全ての議案が承認された。

役員会の開催

- ・ 7 月 1 3 日 愛知県鉄構工業協同組合会議室 18名
ブロック研修会について・PR動画について(絵コンテ)
JSCA中部法人化30周年記念事業について
- ・ 9 月 2 8 日 愛知県鉄構工業協同組合会議室 12名
ブロック研修会について・PR動画について(写真)
- ・ 1 1 月 2 日 静岡県浜松市 遠鉄モールAny 15名(+4名)
ブロック研修会について・PR動画について(シナリオ)
- ・ 2 月 1 日 愛知県鉄構工業協同組合会議室 16名
来期役員について・PR動画について(音声)
- ・ 5 月 1 6 日 愛知県鉄構工業協同組合会議室 開催予定

ブロック合同研修会（静岡大会）の開催

- 11月2日（土）ホテルコンコルド浜松 38名

- 講演内容

- 【業界イメージアップの手段を学び若手の人材確保に繋げる】

- 演題① 「意匠設計者から見るファブリケーターという職業」

- 講師 渡辺 隆 様 （渡辺隆建築設計事務所）

- 演題② 「アートディレクターから学ぶ企業アピール方法」

- 講師 星野晃由 様 （株式会社テクイジデザイン）

- ワークショップ「自社のキャッチコピーを作ろう」

ブロック合同研修会（静岡大会）の開催



ブロック合同研修会（静岡大会）の開催

- まとめ・評価

演題①より

鉄骨業界における近年の課題は、若手の人材不足である。同じ建築業界だが、根強い人気の職業である意匠設計者に、人気の秘訣を講演していただく機会を得た。ただ、ファブである当事者が、この仕事は人気がないということを、勝手に自覚してしまっているのではないかという指摘を受ける。

そして、意匠設計の観点から、鉄骨の良さ、鉄骨の素材の素晴らしさ、施工におけるFABのカッコよさを、講演して頂いた。又、設計者の意図を把握し、建物に反映できるといったファブならではの「プロ意識」の向上を期待し、ものづくりに携わることで『魅力的な職業』というイメージをこの業界で働くものとして、各自が持てるよう、意識の改革を目指すことを求められた。

実際、FABとして働きながら、この仕事に対する思いの中に、魅力がないと頭の片隅にある者も少なくない。ただし第三者から見れば、【カッコいい】【素晴らしい】と語っていただいているのは確かだ。まずは、FABとして従事している一人ひとりが魅力を感じるように意識改革をすべきだというのがこの研修での収穫である。

ブロック合同研修会（静岡大会）の開催

・まとめ・評価

演題②より

本年度のテーマは、業界イメージアップとしている。

近年、SNS普及により誰もが簡単に、多様な画像、動画を閲覧できる時代である。

ここでイメージアップをキーワードとして「見せ方」のプロフェッショナルに講義して頂き、若手が興味をひき、かつ業界イメージアップができる見せ方のポイントを学んだ。

多種多様な業界の企業アピールに携わる講師は、まず、何があなたの会社では優れていますか？という質問を投げかけた。そこで口ごもる事は、どのようなアピールをすべきかなどわかるはずもない。まずは、自社でのアピールポイントを整理することが重要であり、それを伸ばす努力を惜しまない事の大切さを学んだ。

又、事例を紹介していただきながら、参加者が提出した画像をもとに、この業界を知らない一般の方への、アピール方法を解説していただくことで発信方法の手段を学んだ。

ブロック合同研修会（静岡大会）の開催

・まとめ・評価

ワークショップより

【自社のキャッチコピーを作ろう】をテーマとして講師が用意してくれた資料を基にキャッチコピーを作ってみた。まずは得意分野の整理である。発信したい内容はたくさんあるが、それでは人の目には付かない事を学んだ。

段階的に整理していく中で、一般の方でも理解できる各社の一言【キャッチコピー】が徐々に出てきた。

この研修の中で完成しなくても、キャッチコピーを作ることで各社のアピールの基本を学ぶことができた。

・総括

この研修では

第一段階として 自社を知る（魅力、カッコよさ）

第二段階として 自社のアピールポイントを整理する

第三段階として 自社のキャッチコピーの作成

第四段階として 自社の発信方法を考える（ホームページ等の活用）

この4段階の成功で自社の人材確保が達成され、達成する会社が増えれば増えるほど業界のイメージアップができ、人材確保へとつながると期待する。

J S C A 法人化 3 0 周年記念事業に参画

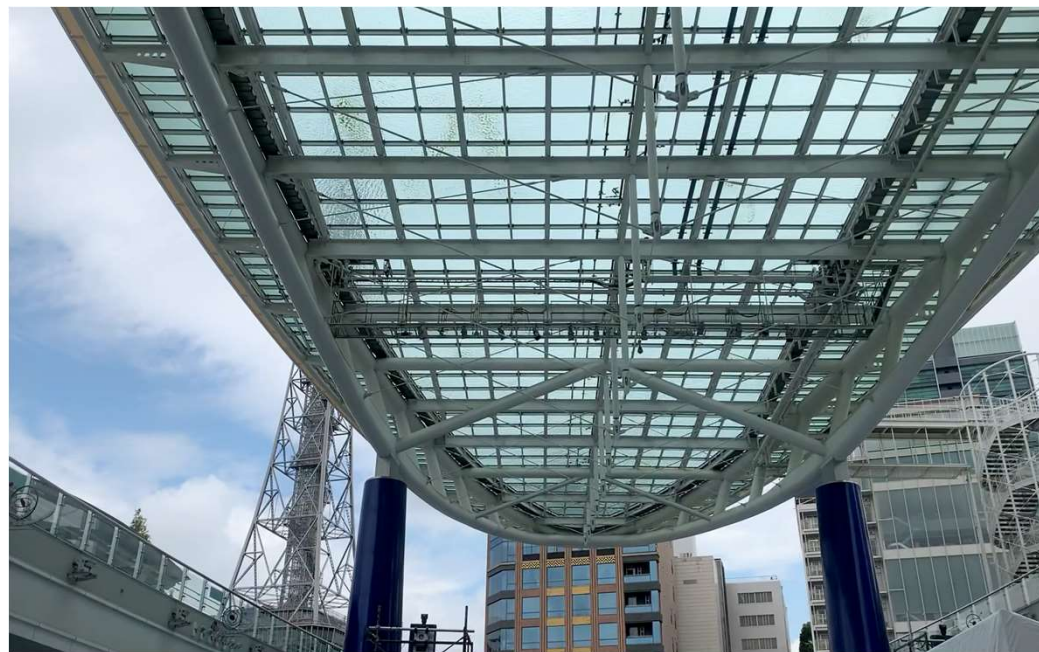
8月31～9月1日 名古屋栄オアシス21銀河の広場にて平素より、お付き合いのあるJSCA中部様の一般の方々に向けて「減災と建築」公開した事業に参画。鉄構系部会の展示区画「鉄のブース」にて卓上でミニチュアの鉄骨をボルトとナットを工具を用いて組み立てる「鉄骨建て方遊び」を企画をした。

来訪者の大半は4～10歳児で男女比は同じでありボルトやレンチを初めて触る子供達でしたが、サポートに付かれた方からの丁寧なアドバイスの甲斐があり、組み立てに没頭する子供達のキラキラとした表情が大変印象に残りました。

保護者の方からの質問には、展示パネルとぶら下がり鉄骨を参考に説明する場面も多く、対話によって構造への関心と設計と製作という存在を知って頂く事が出来ました。

10名の参加

J S C A 法人化 30 周年記念事業に参画



PR動画の制作状況

